



DIRECT DRIVE TURNTABLE

VTC-1T MKII

取扱説明書

VESTAX TO THE CORE

Printed in JAPAN

ごあいさつ

この度は、Vestax to the core オリジナルターンテーブルVTC-1TMKIIをお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。

ご使用の前に、本取扱説明書をよくお読み頂きますようお願い致します。

目次

取扱い上のご注意	2
安全上のご注意	3
本機の特長	4
お使いになる前に	4
各部の名称	5
組み立て方法	6
接続と設置	7
調整方法	8
演奏方法	9
故障かな?と思ったら	10
保証、アフターサービスについて	11
主な仕様	11

取扱い上のご注意

針先やレコードに付着したほこりやごみは、よく取り除いてください。

針先にほこりやごみがついたまま演奏しますと、針先がレコード音溝に正確に接触せず、音質が悪化するだけでなく、レコード盤や針先の損耗が早まります。トーンアームからシェルごと取りはずし、柔らかい穂先のはけか毛筆などで根元から針先に向かって、ていねいに取り除いてください。また、レコード盤も良質のレコードクリーナーでよくふいてください。

シェル端子は時々ふいてください。

シェルをトーンアームからはずしておきますと、シェル端子にほこりやごみがつき、接触不良を起こし、雑音が発生したり、ハムが大きくなったり、また、音が出なくなる場合がありますので、柔らかい布などで、シェル端子をふいてから、取り付けてください。

シェルを着脱する場合、アンプのボリュームを“0”にするか、アンプの電源を“OFF”にしてから行ってください。

ボリュームをあげた状態でシェルの着脱を行いますと、不愉快な音ができるだけでなく、スピーカーをいためる場合があります。また、シェルを着脱する場合は、針先保護のため、針カバーをしてください。

ハウリングとハムについて

ハウリングは、スピーカーからの音や振動がプレーヤーに伝わり、それを再びカートリッジが拾い上げることによって生ずるものです。ボリュームを上げて、ウォーンというハウリングが発生するときは、スピーカーと本体との位置関係をチェックし、音や振動が本機に伝わらないように対策してください。ハムノイズは、他の電器製品から出る電磁波によるものです。本機周辺の電器製品では特にアンプとの位置関係をチェックしてください。

転宅などで、遠くへ運ばれるとき。

購入時の包装材で、開梱のときと逆の方法で包装してください。包装材がないときでも、次のことは必ず行ってください。

- スリップマットとターンテーブルを抜き取って、傷のつかないように包装します。
- トーンアームをアームレストに戻し、更にテープまたは紐等で結んで動かさないように固定してください。
- バランスウェイトやシェル／カートリッジは、アームから取りはずし、傷のつかないように包装してください。
- 本体は、毛布や、柔らかい紙で、傷のつかないように包装してください。

安全上のご注意

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしていますので「安全上のご注意」の内容をよくご理解下さいますようお願い致します。



警告

この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



電源プラグをコンセントから抜く

- 記号は行為を強制したり表示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な表示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。



分解禁止

- 記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中に具体的な表示内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



指を挟まれないよう注意

- △ 記号は注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な表示内容(左図の場合は指をはさまれないように注意)が描かれています。

警告



電源プラグをコンセントから抜く

- 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
- 万一、内部に水や異物などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。



水槽での使用禁止

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

注意



電源プラグをコンセントから抜く

- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。



- オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱、やけどの原因となることがあります。
- 電源を入れる際には音量を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力傷害などの原因となることがあります。
- 5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談してください。
- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



- 調理台や加湿器のそばなど湯煙が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に湿度が高くなる場所に放置しないでください。部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

本機の特長

- 本機は従来のフォノアンプ内蔵型ターンテーブルに標準装備されているアース端子を省いた設計をすることにより今まで接続する機器との間につないでいたアース線が不要となりました。
- スタティックバランストーンアームは、レコードの溝を確実にトレースし、安定した再生を保証します。
- 多くのDJの意見を参考にした新設計のトーンアームレストは、レコード交換時の操作性を向上させました。また、ストッパーを装備しており、使用しない時や運搬時にアームを保護します。
- スタート/ストップボタン、クォーツロックボタン、回転数切り替えボタンにはVestax DJミキサーのPMCシリーズで実績のあるトランスフォーマー・スイッチと同等の機構を採用し、よりスムーズな操作を可能にしました。
- ハイトルクダイレクトドライブモーターの採用により、起動トルク1.6kg・cmを実現。これにより、重量級ターンテーブルがわずか0.3秒(33 1/3rpm時)で立ち上がり、頭だしがタイミングよく行えます。
- 連続可変ピッチコントロール方式を採用。極めて正確な回転精度を保ったまま±10%の範囲でピッチを連続的に可変させることができます。また、ピッチフェーダーボリュームはクリックを持たないため、全域にわたり微妙なピッチ調整が可能です。
- クォーツロックにはON/OFF切り替えスイッチを採用し、ピッチフェーダーを動かしていても、瞬時に定速回転に切り替わります。

お使いになる前に

部品、付属品の確認

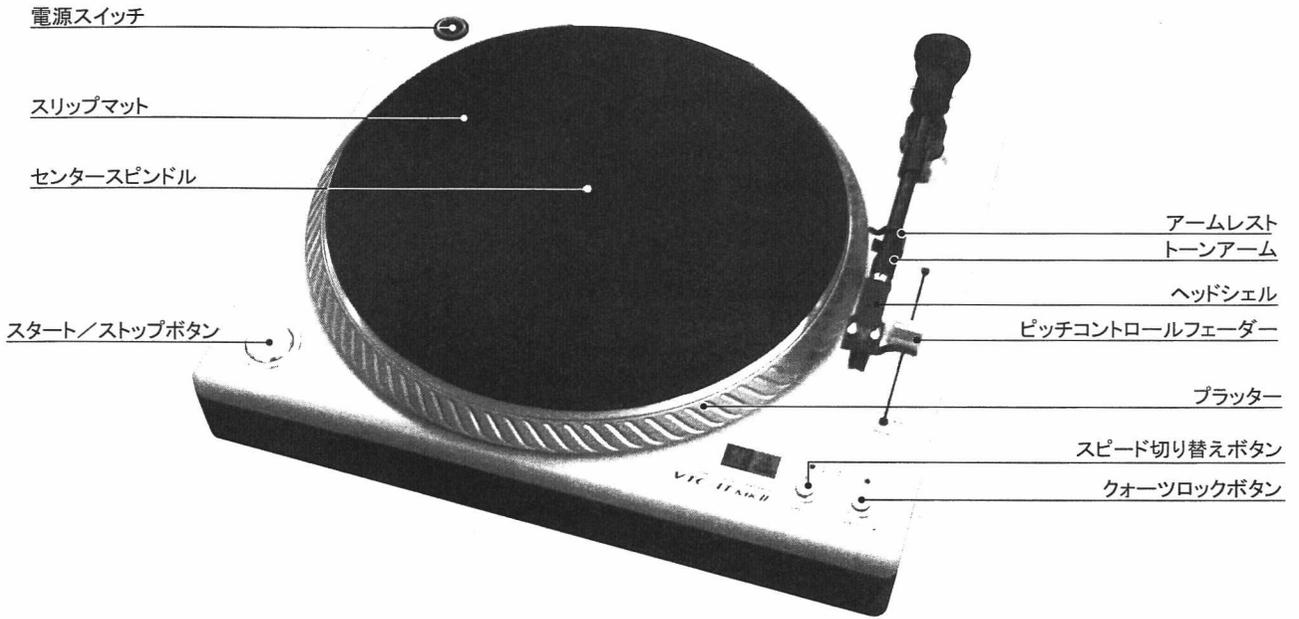
本機は一部の部品を取り外して包装しております。部品が揃っているか確認してください。

1. 本体
2. ターンテーブル
3. スリップマット
4. ヘッドシェル
5. バランスウェイト
6. RCAケーブル
7. EPアダプター

※カートリッジは別売りとなります。

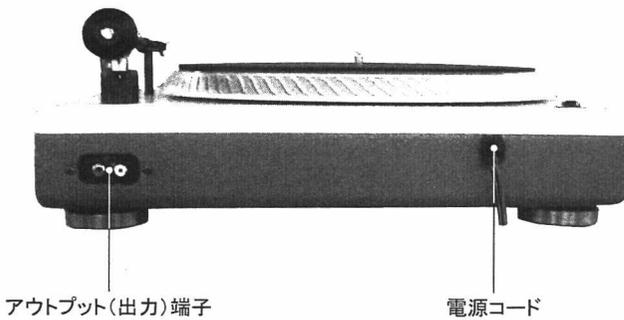
各部の名称

フロント部

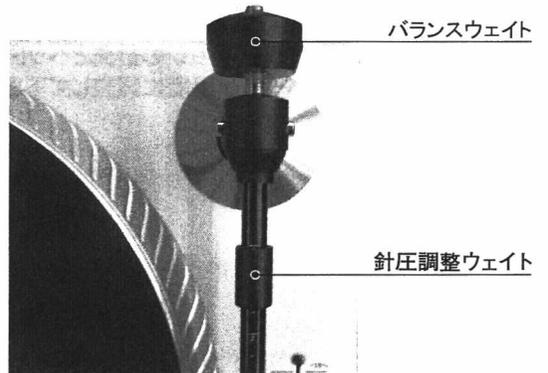


※写真のスリップマットは、実際に付属しているものとは異なります。

リアパネル部



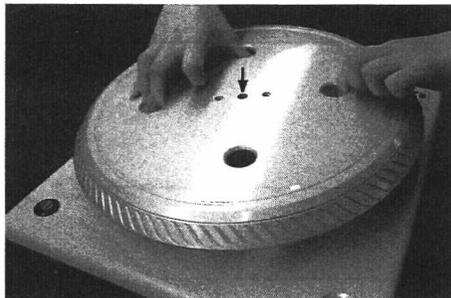
トーンアーム部



組み立て方法

1 プラッターの取り付け

- ① プラッターをセンタースピンドルにはめます。
- ② スリップマットをのせます。



ご注意

組み立て調整がすべて完了するまでは、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
プラッターを取りつける場合、本体に当たらないようにご注意ください。

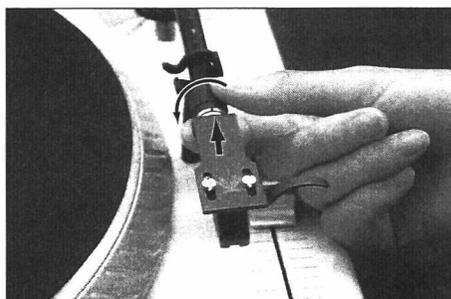
2 バランスウェイトの取り付け

バランスウェイトをトーンアーム後方から入れ、正面から見て左回り矢印の方向に廻します。



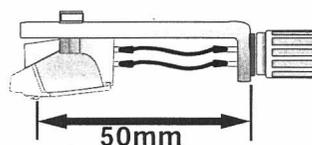
3 カートリッジの取り付け

- ① トーンアームの前部にヘッドシェルを差し込みヘッドシェルが固定されるまで、ロックリングを矢印の方向に回します。
- ② カートリッジの取り付け位置の調整をします。
下図のようにカートリッジの針先とヘッドシェルの根元との間の距離を50mm程度に調整して下さい。



ご注意

カートリッジを前後に動かす際、針先が指やターンテーブルに触れて破損することのないよう、慎重に行ってください。

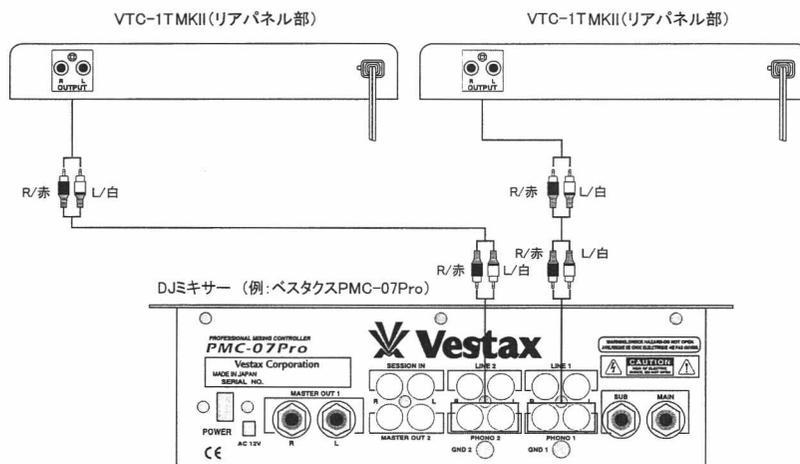


接続と設置

PHONO端子の接続

付属のRCAケーブルを本体リアパネルにあるアウトプット端子に接続し、使用するアンプやオーディオミキサーのPHONO入力端子に接続して下さい。

接続例



電源プラグの接続

電源プラグをコンセントに接続します。

ご注意

本機は交流 (AC) 電圧100Vでご使用いただくようになっています。100Vを超える電圧や直流 (DC) 電源には絶対接続しないでください。

プレーヤーの設置

外部振動を受けない、しっかりした水平な場所に設置してください。

スピーカーシステムからできるだけ離して設置してください。直射日光、ほこり、湿気などの多い場所や、暖房器具の近くは避けてください。

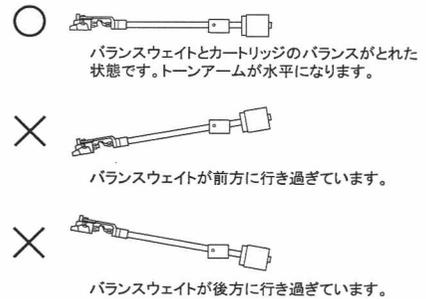
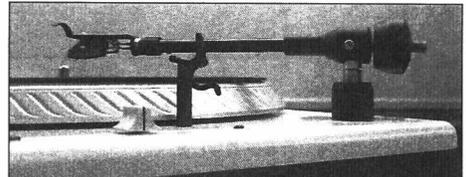
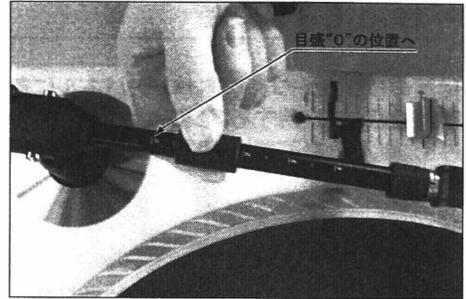
通風の良い場所を選んでください。

ラジオ (FM/AM) を極端に近づけますと、ラジオに雑音が入る場合がありますので、できるだけ本機より離してください。

調整方法

1 水平(ゼロ)バランス調整

- ① トーンアームにヘッドシェル、バランスウェイトを取り付けます。
- ② トーンアームの針圧調整ウェイトを目盛“0”の位置に合わせます。
- ③ アームレストのロックを外し、バランスウェイトを廻しながらトーンアームが水平になるように調整します。
- ④ トーンアームをアームレストへ戻します。

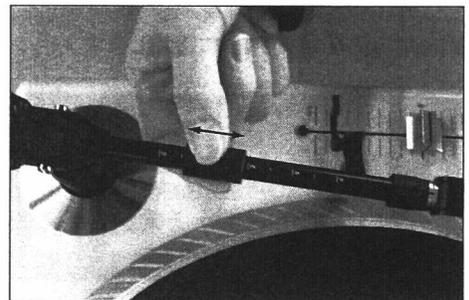


ご注意

水平バランス調整をするときに、カートリッジの針先がプラッターや本体に触れないようにしてください。

2 針圧調整

- ① トーンアームの針圧調整ウェイトをご使用のカートリッジ指定の針圧値までスライドさせます。
針圧4.0gまで加えられます。

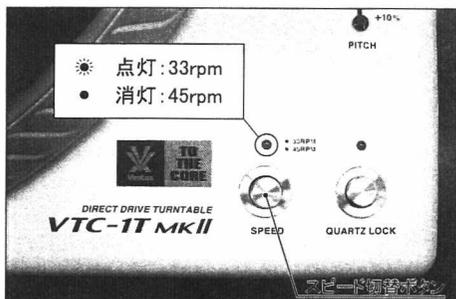
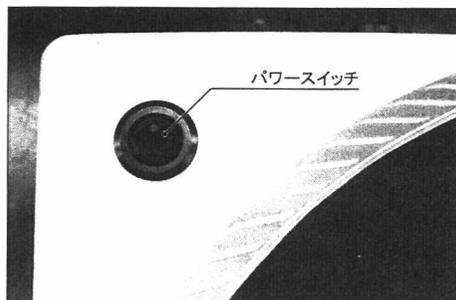


ご注意

スクラッチプレイを行う際、針圧を加えすぎると、針飛びの原因となります。また、針圧は加えすぎると針先の寿命が短くなります。適正針圧にてご使用ください。

演奏方法

- ① レコード盤をスリップマット上にのせます。
- ② 左上面に配置されたパワースイッチを押し電源をONにします。
- ③ 針カバーを外します。(カートリッジにより針カバーのないものもあります。)
- ④ スタート/ストップボタンを押します。プлатターは回転します。
- ⑤ トーンアームをレコード盤上に移動し、針先を静かにレコード盤に下ろします。
- ⑥ 演奏するレコードの回転数をスピード切替ボタンを押し、33 1/3rpmか45rpmかを設定します。

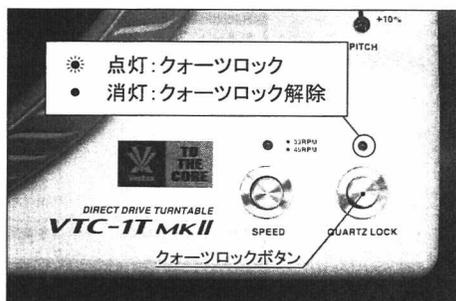


ご注意

スタート/ストップボタンを押さずにパワースイッチをOFFにした場合、電子ブレーキは働きません。

クォーツロックについて

- ① クォーツロックインジケータが点灯している時は、規定の回転(33 1/3rpm、45rpm)が得られます。
- ② クォーツロックボタンを押すと、クォーツロックインジケータが消灯し、クォーツロックが解除され、ピッチコントロールが可能な状態になります。
- ③ 規定の回転数(33 1/3rpm、45rpm)に戻したい時は、クォーツロックボタンを押すと、クォーツロックインジケータが点灯し、ピッチコントロールフェーダーがどんな位置にあっても瞬時に規定の回転数(33 1/3rpm、45rpm)に戻ります。

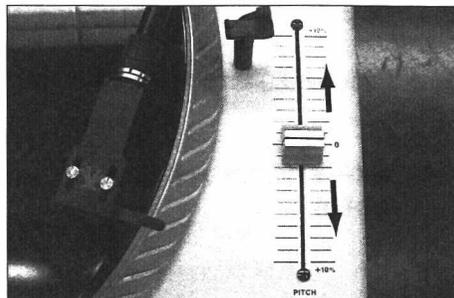


ドーナツ盤レコードを演奏する場合

付属のEPレコード用アダプターをセンタースピンドルにはめ、ドーナツ盤のレコードをEPアダプターにはめ込んでから演奏をはじめてください。

ピッチコントロールフェーダによる回転数の微調整

- ① ピッチを変えたい時にはクォーツロックボタンを押しランプが消えるのを確認してからピッチコントロールフェーダーを動かしてください。
- ② ピッチコントロールフェーダーの操作によりテンポを約±10%可変できます。



故障かな?と思ったら

本機の調子がおかしいとき、修理に出される前にもう一度点検してください。
それでも正常に動作しないときは、お買い上げになった販売店にご相談ください。

症状	考えられる原因	処置
電源が入らない。	電源プラグがはずれている。	確実に電源プラグを差し込む。
電源を入れても音が出ない。	各機器の接続が間違っていないですか。	正しく接続する。
音量が小さい。	レコードプレイヤー本体の出力をアンプ/オーディオミキサーのAUX INまたはLINE INに接続していませんか。	アンプ/オーディオミキサーのPHONO INに接続し直す。
	レコードプレイヤー本体に取りつけているカートリッジに、MCタイプを使用していないですか。	カートリッジをMMタイプへ交換する。(MCタイプを使用する場合はヘッドアンプが必要です。)
左右の音が逆になる。	各機器の接続が間違っていないですか。	正しく接続する。
演奏中にブーンという低い音(ハム音またはバス音)が入る。	接続コードの近くに蛍光灯などの電気機具や電源コードがありませんか。	蛍光灯または他の機器の電源コードをできるだけ離してみる。
ランブルノイズや低周波ハウリングが起こる。	レコードプレイヤー本体の近くにスピーカーがありませんか。	スピーカーをプレイヤー本体から離す。
針が飛んだり、横すべりする。	レコードプレイヤー本体が水平な場所に設置されていない。	水平な場所に設置する。
	針圧が正しくない。	正しい針圧に設置する。
	レコードが汚れているか傷がついている。	レコードをクリーニングするか他のレコードと交換する。
音が片方しか出ない。または全くでない。	ヘッドシェルがトーンアームに確実に取り付けられていない。	確実に取り付ける。
	ヘッドシェル内のカートリッジリード線がはずれている。	確実に接続する。
正常な音質が得られない。	針先にゴミがたまっているか消耗していませんか。	針先のゴミを専用のクリーニングブラシで取り除くか、針先を新品と交換する。
演奏スピードが正しくない。	回転数の設定が誤っていませんか。	レコードに記載されている回転数に合わせる。
ターンテーブルが回転しない。	電源プラグがはずれている。	確実に電源プラグを差し込む。

保証、アフターサービスについて (必ずお読みください)

保証書 (別添)

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
保証期間
お買い上げの日から1年です。

補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り8年です。
この期間は通産省の指導によるものです。
性能部品とは、その製品の機能を維持する為に必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
(保証期間中であっても、内容により有償となる場合があります。)

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。
見積りの必要な場合はあらかじめお伝えください。

お買い上げの日

お買い上げ店名

() -

主な仕様

TURNTABLE	MOTOR	DIRECT DRIVE QUARTZ
	STARTING UP TIME	0.5sec (33 1/3 rpm) 70°
	STARTING TORQUE	1.6kg·cm
	BRAKING SYSTEM	ELECTRONIC BRAKE
	RAMBLE (S/N RATIO)	78dB (IEC 98 WTD)
	SPEED	33 1/3 rpm, 45rpm
	PITCH	±10%
	WOW & FLUTTER	0.03% W.R.M.S.
ARM	TYPE	STATIC BALANCE SYSTEM
	STYLUS PRESSURE	ADJUSTMENT RANGE 0~4.0g
OTHER	LIGHT (OPTIONAL)	DETACHABLE MINI LIGHT DC12volt 100mA
	SPEED LOCK	QUARTZ LOCK
	DIMENSIONS (W×H×D)	398mm×145mm×338mm
	WEIGHT	5.3 kg
	POWER	AC100V 50/60Hz 61W

※仕様及び外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

